

# 戦前の軍国主義の精神的なシンボル

## 忠魂祠改修事業に町費支出

### 将来に禍根を残す事になる

12月議会において、補正予算の中に平和の礎・忠魂祠改修事業実行委員会補助金があり、補助金額は150万円です。

補正予算は与党議員の賛成多数で採択されました。嵐山町の「忠魂祠」と

### 寄付が集まらず 町の予算で改修

「忠魂碑」は菅谷館跡地内に建立されています。設置されている説明版によると、昭和2(1927)年に創建されており、その後、昭和40(1965)年に再建修復したとあります。再建修復から50年以上経過しているた

### 忠魂碑には 軍事教育の 歴史がある

しかし、忠魂碑には忘れてはならない歴史があります。

戦前には、戦死者を「天皇のため国のために忠義を尽くした英霊」と讃え、「この人たちにっつけ！」と鼓舞する碑であり、軍国主義の精神的シンボルとしての役割を果たしました。

### 軍人が立派に死ぬ 誓いの場

当時を知る方は、「自分も立派な軍人になります」という誓いの場であったとのこと。 「立派な軍人」とは、立派に死ぬことでもあったということ、まさに軍事教育の一環の施設であったわけです。

### 日本の侵略で アジア各地に多数の犠牲者を生んだ

第二次世界大戦では、日本の侵略によってアジア各国に甚大な被害をもたらし、中国だけでも2



000万人とも3000万人とも言われる犠牲者を出し、日本でも約310万人(1963年政府閣議決定)の方が犠牲となりました。

町内でも徴兵されるなどして犠牲になった方が多数います。

### 戦争を 推進した人達を 賛美している

「忠魂祠」は、昭和40年に「村内全体の英霊を一堂に祀り」再建修復し、その際に説明版によると「ラバウルの名將今村均元大將を招き、合祀慰霊祭を挙行した」とあります。今村元大將は戦後の評価はともかく戦争犯罪

### 軍国主義の精神は 「平和の礎」では 無い

戦前の軍国主義の精神的シンボルとしての役割を果たした忠魂祠・忠魂碑は、「平和の礎」と

### 名前をつけても本質的な 性格は変わりませぬ。 本当の供養は 戦争をしない 平和な日本を 作る事

このような施設に、町費を支出することは将来に禍根を残すことになり、あってはならないことを示すものでもありません。

### 主要農産物種子法(種子法)が、今年の4月に廃止されます。

## 「種子法廃止」って誰のため?

### 嵐山町議会は「種子保全の意見書」を否決したが?

財界や種子企業の意向をうけた安倍内閣の規制改革推進会議が一昨年に突然廃止をうちだし、昨年4月に強行されました。嵐山町議会にも「主要農産物種子法廃止に際して日本の種子保全の施策を求め意見書」が渋谷登美子議員から提出されましたが、自民党系会派と公明党の反対で否決されました。

種子法廃止は、財界や種子企業の意向をうけた安倍内閣の規制改革推進会議が一昨年に突然廃止をうちだし、国会で問題点が噴出するなかで昨年4月に強行されました。日本共産党の紙智子参

給です。南北に長い日本で地域の特性にあって栽培しやすく、しかもおいしいお米が時間と労力をかけて開発され、その数は300品種にのぼります。

### 安倍晋三首相は政権復帰後の5年間、農業・農村を脅かす暴走を続けてきました。 農政でも 財界言いなりの 安倍政権

安倍晋三首相は政権復帰後の5年間、農業・農村を脅かす暴走を続けてきました。農業者・国民の強い反対を無視しTPP(環太平洋連携協定)批准を強行、トランプ米政権が離脱したにもかかわらずTPPに固執するなど農産物の際限のない自由化に突き進んでいます。

国内農政でも、競争力強化の名の下に大規模化、効率先行の路線を押し付け、戦後農政の根幹であり家族経営と地域農業を守ってきた農地・農協制度の解体を進めています。

### 多様な家族経営で 成り立つの農業を

日本共産党は、農業を国の基幹的生産部門として位置づけ、食料自給率の向上を国政の柱に据えることを掲げています。

種子を国民の共有財産として守り、残すための

種子法は、都道府県が新品種の開発をして地域に適した「奨励品種」として米、麦、大豆の種子を安く安定的に供給する国の義務を定めた1952年にできた法律です。

現在、国内で生産される米の種子は100%自

種子の役割は重要であり、その開発・生産、普及などに公的機関のかわりが引き続き求められます。

各地の農業試験場や奨励品種制度の維持、種取り農家の保護が必要となります。

種子を国民の共有財産として守り、残すための